

BASIC

下刈りのきほん

まずは、しっかりした安全装備。
そしてよく切れる刃を準備します。作業は右から左へ移動しながら刈払うのが基本となるので、複数人で現場へ入る時は、各自が持ち場を決め必要以上に近づきすぎないように十分注意しましょう。

02 疲れにくい刈り方

機械はあまり大きく振り回さないようにします。ブンブンと180度も振り回すのはよくありません。傾斜に応じて振り幅（刈り幅）は変わってきますが、無理のない範囲で身体の前で使うようにします。また、腕を伸ばして振り回すとすぐに疲労してしまいます。草は回転する刃が刈ってくれます。脇を締め腰の回転で刈払うのが疲労せずに作業できるコツです。



01 草の刈り方

下刈り機は刈払機とも呼ばれるように機械を振りながら作業します。草は右から左に振る時に刈るようにします。左から戻す時に草を刈ってしまうと、刈った草が飛び散ったり飛び石が向かってくることもあり危険です。

03 歩き方のコツ

移動する歩幅はもちろん傾斜にもよりますが、複数回刈り払った後、大股にならないように歩きます。回転する刃に不用意に足を近づけないようにしましょう。刈りながら端まで行ったら、機械を止めてまた反対の端まで戻ります。逆向きに刈らないようにするためと、刈払機の連続作業を避けるためです。



04 上下作業の禁止

複数人で斜面を刈る時は上下に重ならないように注意することが肝心です。作業開始前に自分が刈る範囲、持ち場を決めて、できるだけ作業者が等高線上に並び、刈り進めていくようにします。